

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	(実践状況)可能な限り事業所に対応する方針となっており、契約時、ならびに状況の変化に応じ、その都度、家族に出来る事・出来ない事を詳しく説明している。その上で、主治医・家族と話し合い、今後の方向性を定めている。昨年1名の看取りを行っている。 (次のステップに向けて期待したい内容)終末期の支援、看取り後、カンファレンスを実施されることを期待する。	看取り後、カンファレンスを実施することで看取りケアを振り返り、看取り介護の充実をはかる。	①看取りケア実施1か月以内、看取りカンファレンスを実施する。 ②カンファレンスでは、家族対応、疼痛及び疼痛以外の苦痛への対応、実施できたこと、実施できなかったこと、次にいかせること等、確認する。 ③「評価」と「改善」について職員の意見を聞き、次のケアに反映させる。 ④年2回、重度化した場合における対応及び看取り介護の充実を目的に教育訓練を実施す	24ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。